

2019年3月期 第2四半期 決算説明会 決算概要

2018年11月16日

 **株式会社アルファシステムズ**

専務取締役管理本部本部長 土倉 勝美

2019年3月期第2四半期 経営成績

～売上高・利益ともに業績予想を上回り、前年に引き続き増収増益となりました～

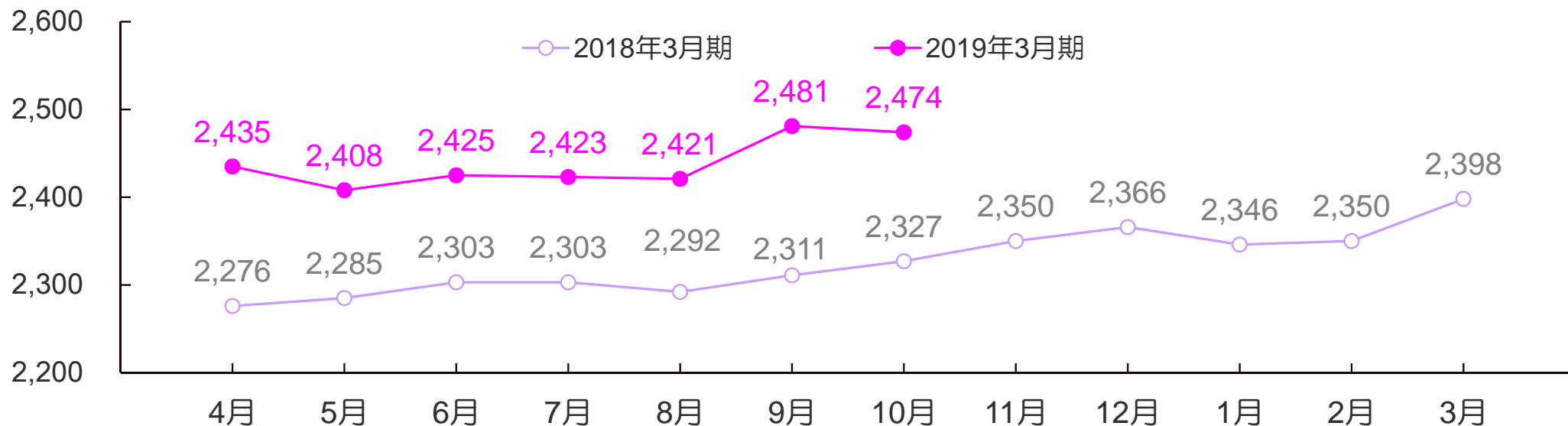
【金額単位：百万円】

	2018年3月期（第2四半期）		2019年3月期（第2四半期）		前年同期比 増減率	対業績予想 達成率
	実績金額	売上比	実績金額	売上比		
売上高	13,427	—	14,303	—	6.5%	102.2%
営業利益	1,308	9.7%	1,553	10.9%	18.8%	119.5%
四半期純利益	902	6.7%	1,070	7.5%	18.6%	118.9%
1株当たり 四半期純利益	60.80円	—	72.69円	—	—	—

受注高

受注高の推移（12カ月移動平均） ⇒ 24億円台を維持

【金額単位：百万円】



情報サービス業界の動向

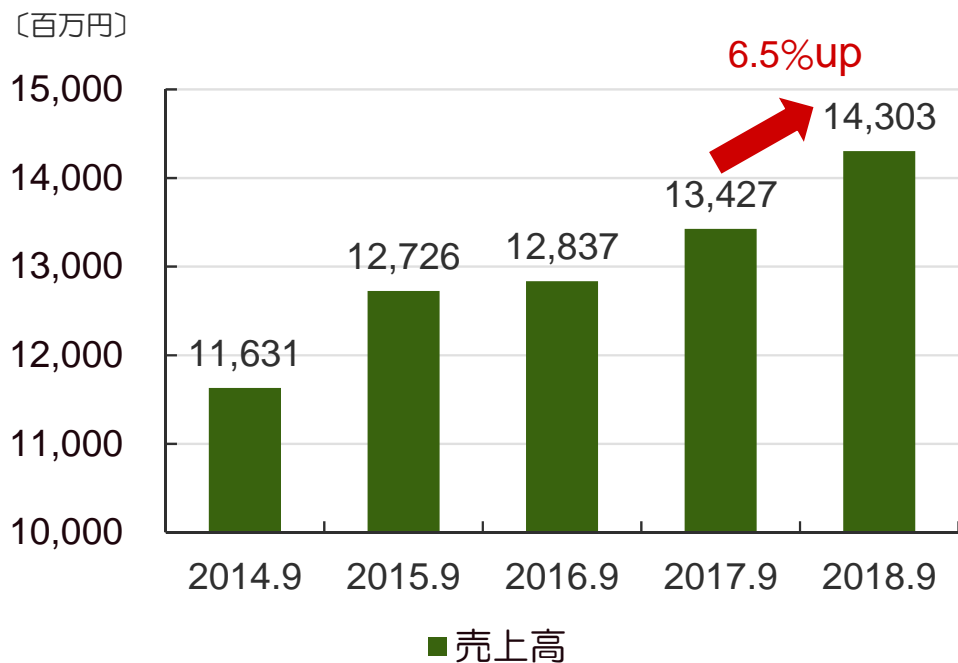
☆幅広い分野でシステム投資が堅調に推移

オープンシステム分野：様々な業種でICTの戦略的な活用が進む

通信システム分野：IoTやクラウドサービスの市場拡大に伴うネットワーク設備の増強が進展

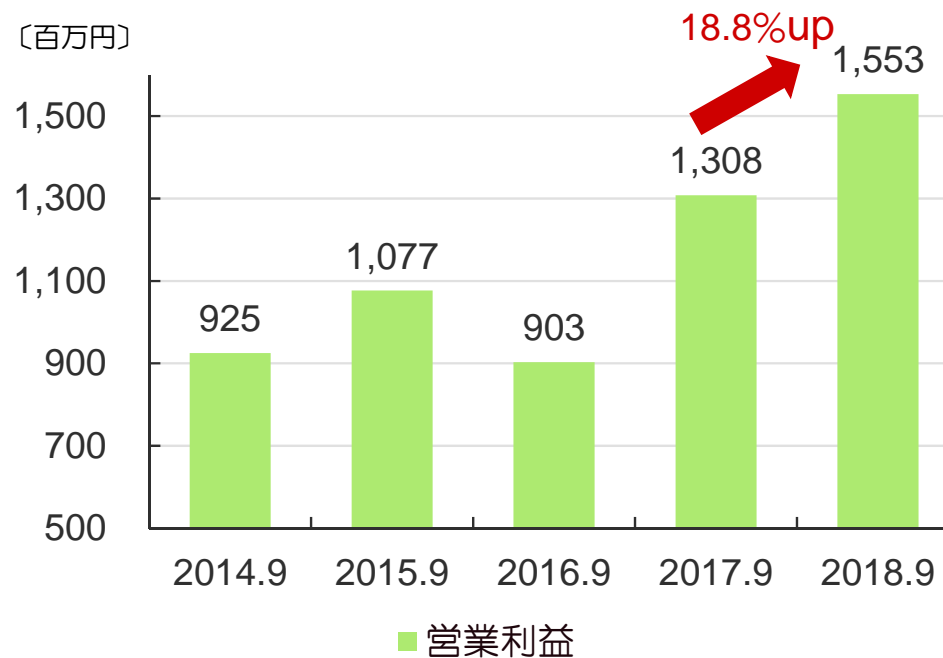
公衆電話網の廃止に伴うサービス移行開発が進む

2019年3月期第2四半期 売上高・営業利益



- オープンシステム分野
→流通・サービス関連の売上が増加
- 通信システム分野
→ノードシステム関連の売上が増加

4年連続増収
第2四半期の売上高
としては過去最高



- 売上高営業利益率
→10.9%

2年連続2桁増益
第2四半期としては
過去最高益

2019年3月期第2四半期 売上原価・販管費

売上原価（売上原価率 前年同期比 0.4ポイント改善）

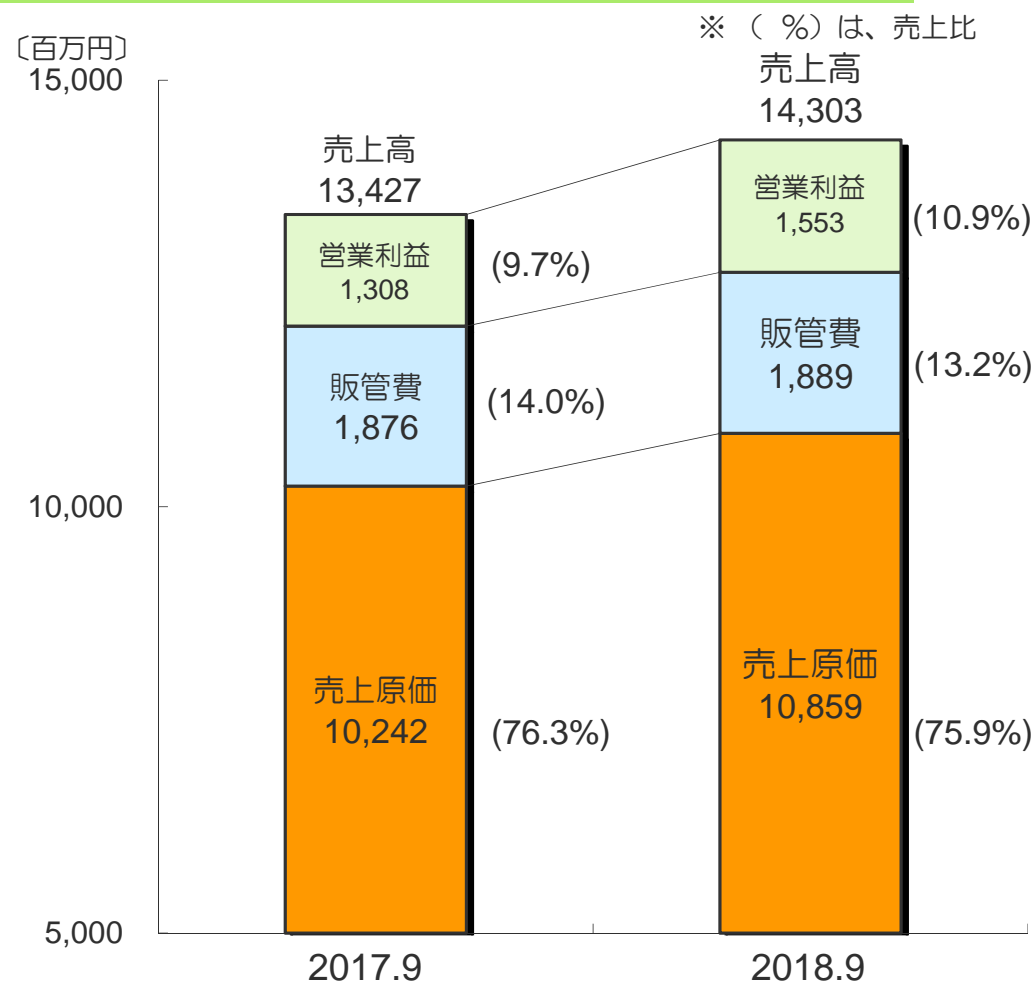
- 育成体制の強化による新人の早期配属を実現、要員稼働率が当初見込みを上回る

販管費（売上高販管費率 前年同期比 0.8ポイント改善）

- 開発要員の採用コスト及び研修費が増加
- 新入社員の増加による人件費増を残業の削減により吸収

（販管費の主な内訳）

- 人件費 1,486百万円（前年同期比 44百万円減）
- 研究開発費 47百万円（前年同期比 44百万円増）
- 募集費 14百万円（前年同期比 5百万円増）
- 研修費 10百万円（前年同期比 3百万円増）



(要約) 貸借対照表・キャッシュ・フロー計算書

【金額単位：百万円】

	2018年3月期 (期末)	2019年3月期 (第2四半期)	前 増 減 額	前 期 末 比 率
資産の部	40,655	39,379	▲1,276	
流動資産	23,779	22,404	▲1,374	
固定資産	16,876	16,975	98	
負債の部	6,421	6,770	349	
流動負債	5,560	5,891	331	
固定負債	861	879	17	
純資産の部	34,234	32,608	▲1,625	
株主資本	34,219	32,588	▲1,631	
評価・換算差額等	14	20	5	
自己資本比率	84.2%	82.8%	—	
1株当たり純資産	2,307.48円	2,322.53円	15.05円	

株主資本（前期末比 1,631百万円減）

- 自己株式 ▲2,330百万円

【金額単位：百万円】

	2018年3月期 (第2四半期)	2019年3月期 (第2四半期)	前 年 同 期 比 増 減 率
営業活動CF	2,575	1,498	▲41.8%
投資活動CF	▲455	▲1,116	145.3%
財務活動CF	▲594	▲2,703	355.2%
現金等増減額	1,525	▲2,322	—
現金等期首残高	17,411	16,657	▲4.3%
現金等期末残高	18,937	14,335	▲24.3%

財務活動CF（前年同期比 355.2%増）

- 自己株式の取得による支出 ▲2,332百万円

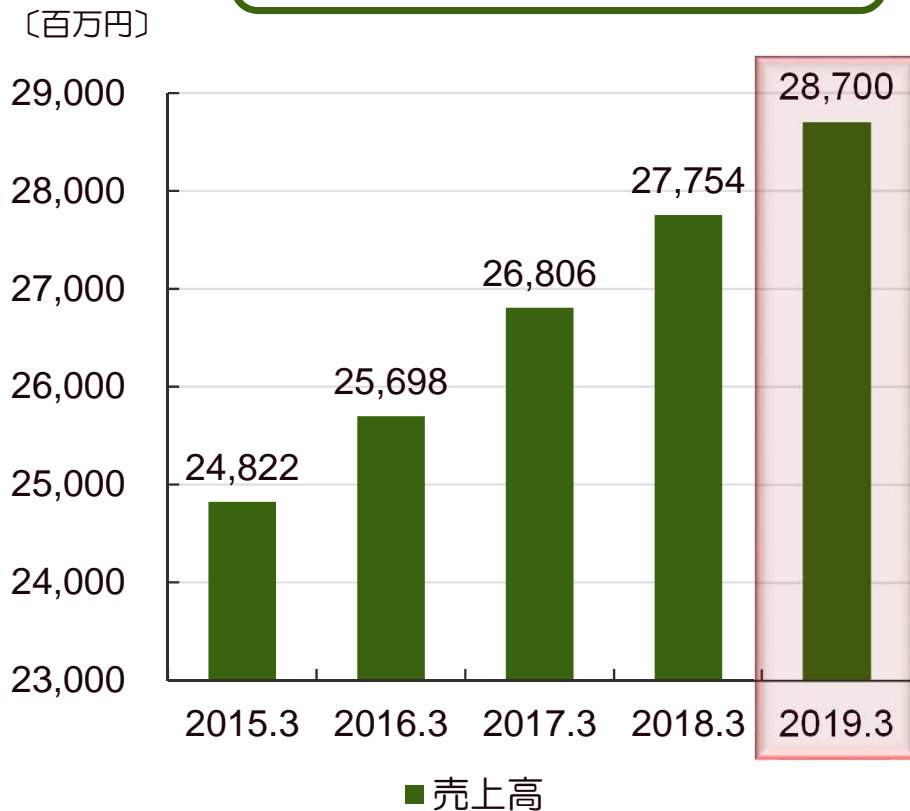
2019年3月期 通期業績予想

【金額単位：百万円】

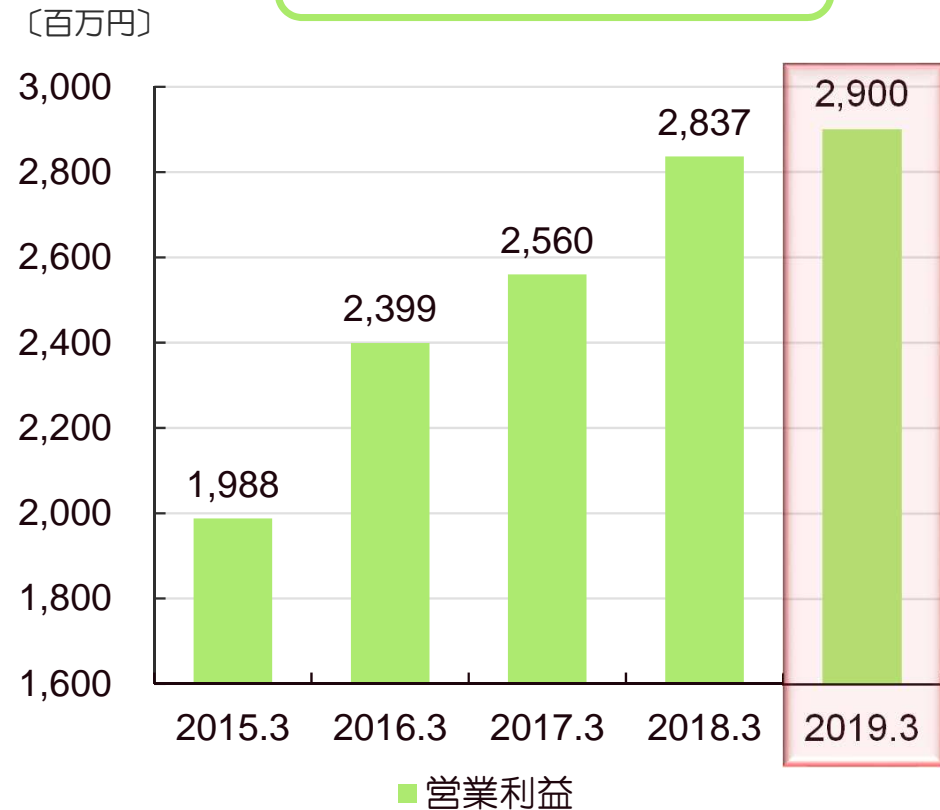
	2018年3月期（通期）		2019年3月期（通期予想）			
	実績金額	売上比	予想金額	売上比	前増 期減 比率	対通期 進捗 予想 率
売上高	27,754	—	28,700	—	3.4%	49.8%
営業利益	2,837	10.2%	2,900	10.1%	2.2%	53.6%
当期純利益	1,992	7.2%	2,000	7.0%	0.4%	53.5%
1株当たり 当期純利益	134.30円	—	135.85円	—	—	—

2019年3月期 売上高・営業利益の見通し

7年連続増収
今期も過去最高売上を見込む



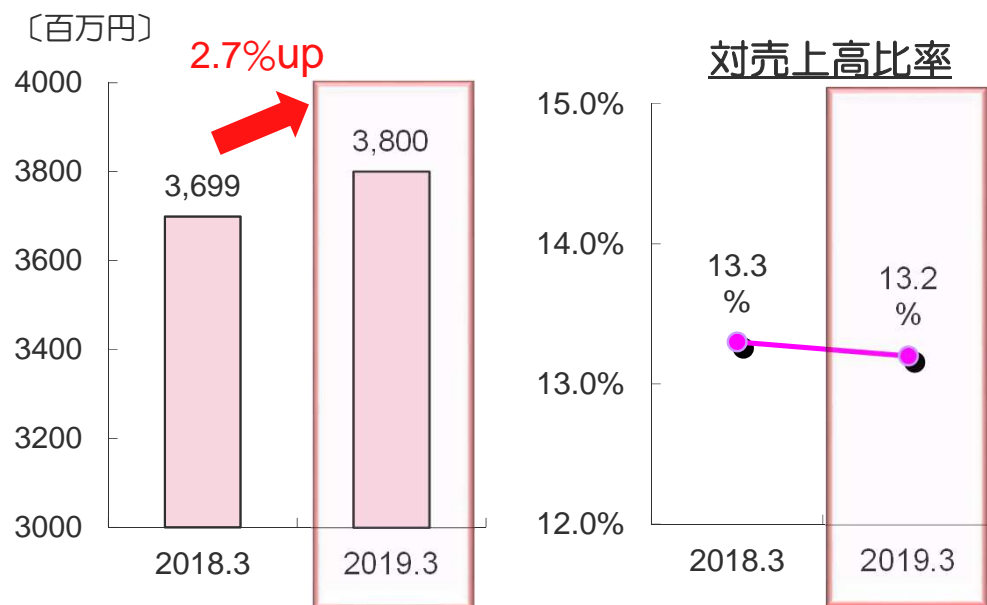
4年連続増益
営業利益率10%台を予想



2019年3月期 販管費・設備投資の見通し

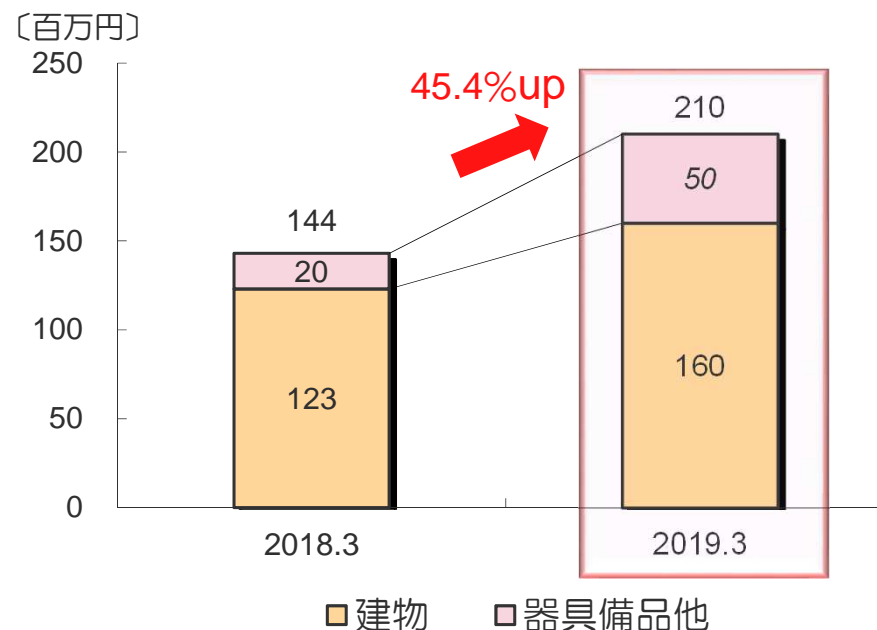
販管費

- 開発要員の採用コストの増加を予想
- 階層別研修の充実に伴う研修費の増加を予想



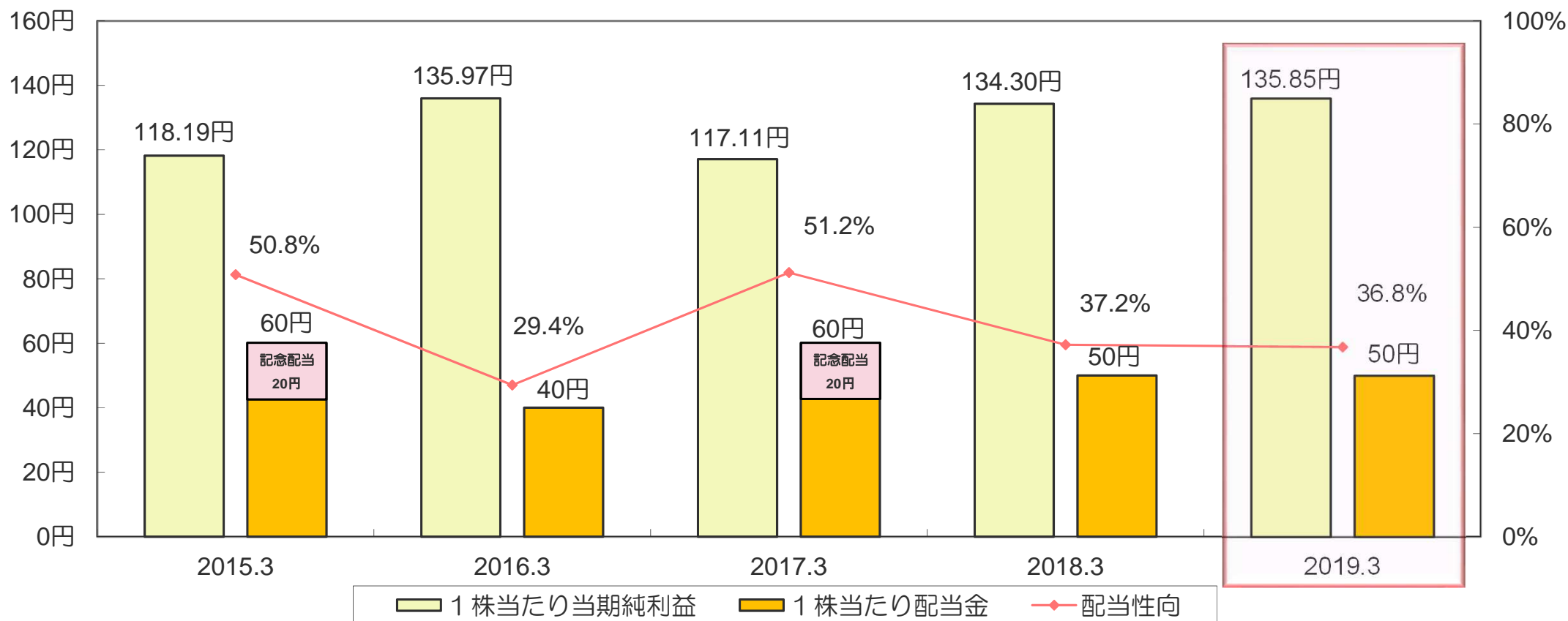
設備投資

- 建物：開発センターの空調設備の更新を計画的に実施
2018.3：第2アルファテクノセンター
2019.3：本社、中原テクノセンター2号館



2019年3月期 配当について

- 中間配当は1株当たり25円といたします。
- 期末配当は1株当たり25円を予定しております。



主要数値の推移

【金額単位：百万円】

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期 (予想)
売上高	24,822	25,698	26,806	27,754	28,700
前年同期比増減率	1.4%	3.5%	4.3%	3.5%	3.4%
営業利益	1,988	2,399	2,560	2,837	2,900
前年同期比増減率	▲6.7%	20.7%	6.7%	10.8%	2.2%
対売上高比率	8.0%	9.3%	9.6%	10.2%	10.1%
当期純利益	1,753	2,017	1,737	1,992	2,000
前年同期比増減率	36.2%	15.0%	▲13.9%	14.7%	0.4%
対売上高比率	7.1%	7.9%	6.5%	7.2%	7.0%
販売費及び一般管理費	3,299	3,567	3,603	3,699	3,800
前年同期比増減率	▲3.7%	8.1%	1.0%	2.7%	2.7%
対売上高比率	13.3%	13.9%	13.4%	13.3%	13.2%
設備投資	31	75	987	144	210
前年同期比増減率	▲49.8%	142.2%	1,210.9%	▲85.4%	45.4%
減価償却費	283	256	258	250	260
前年同期比増減率	▲7.0%	▲9.6%	0.9%	▲3.2%	4.0%
1株当たり当期純利益 (EPS)	118.19円	135.97円	117.11円	134.30円	135.85円
自己資本純利益率 (ROE)	5.8%	6.4%	5.3%	5.9%	6.1%



株式会社アルファシステムズ

<https://www.alpha.co.jp/>

<本資料の取扱上のご注意>

業績予想等につきましては、本資料の発表日現在におきまして入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合がありますので、あらかじめ、ご了承ください。

<本資料に関する問い合わせ>

〒211-0053 川崎市中原区上小田中6丁目6番1号 本社(中原テクノセンター1号館)

株式会社アルファシステムズ 経営企画本部 広報室

TEL(044)733-4111(代) E-mail: ir@alpha.co.jp

2019年3月期 第2四半期 決算説明会 事業の状況について

2018年11月16日

 **株式会社アルファシステムズ**

代表取締役社長 黒田 憲一

目次

- 2019年3月期 第2四半期の状況
- 当社を取り巻く事業環境
- 経営課題への対応状況
- 2019年3月期 見通し

2019年3月期 第2四半期の状況

systems

2019年3月期 第2四半期の状況

育成体制の強化により新人の早期戦力化を実現 開発要員の稼働率が前期以上に高水準を維持

百万円 (前年同期増減率)	売上高	受注高	営業利益	説明
全体	14,303 (6.5%)	14,950 (7.2%)	1,553 (18.8%)	上半期としては、売上高・受注高とも過去最高 営業利益率は10.9%
ソフトウェア開発	13,740 (5.6%)	14,406 (5.4%)	1,509* (19.1%)	売上高は、前年同期より725百万円増加 受注高は、同 742百万円増加
プロダクト・サービス ("その他"事業)	562 (36.5%)	543 (92.7%)	49* (14.7%)	今期計画に対する進捗は見込みどおり

※は「セグメント利益」。別途調整額△5百万円あり。

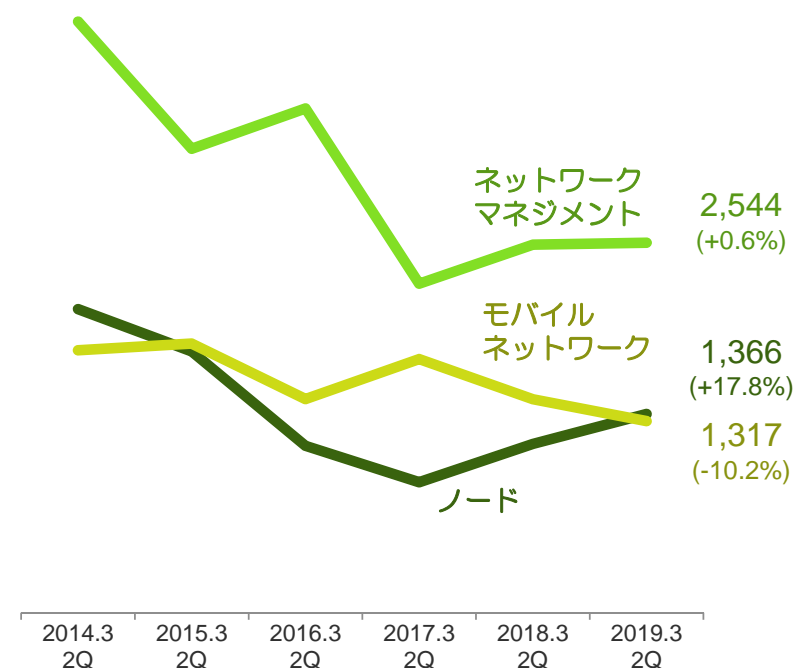
事業区分別の状況(通信システム)

モバイル減少もノード堅調で増加

ノード	NGN関連、PSTNマイグレーション関連が増加
モバイル	基地局関連が減少
マネジメント	NGN関連の受注が伸長も、前期と同水準

(百万円)	2018.3 2Q	2019.3 2Q	増減額	増減率
通信システム	5,157	5,229	71	1.4%
ノード	1,160	1,366	206	17.8%
モバイルネットワーク	1,467	1,317	▲149	▲10.2%
ネットワークマネジメント	2,530	2,544	14	0.6%

通信システム売上高内訳(百万円)



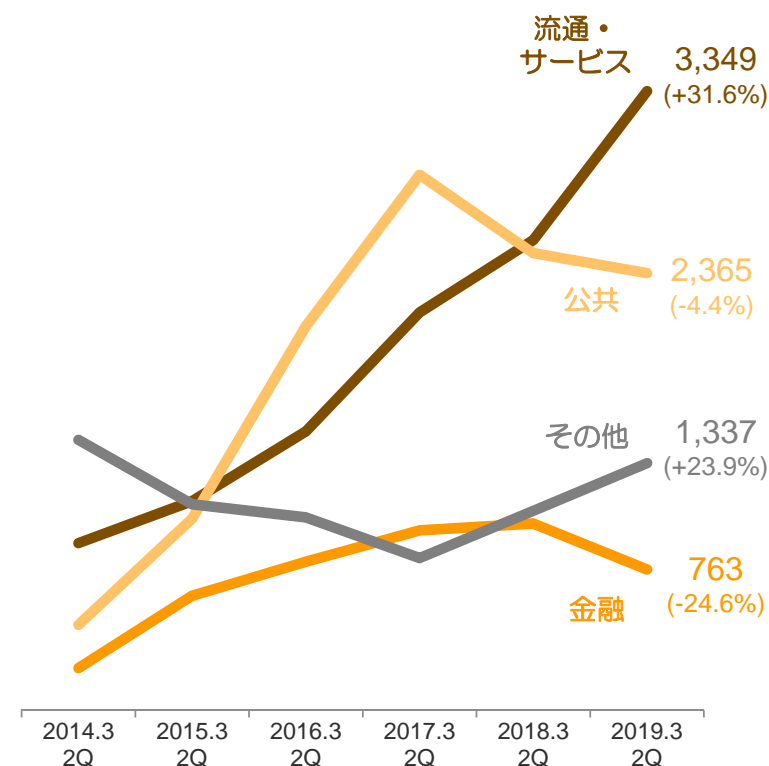
事業区分別の状況(オープンシステム)

流通・サービスの拡大により、9期連続の増加

公共	官公庁向けは堅調、エネルギー関連が減少
流通・サービス	Eコマース、ネットビジネス関連が増加
金融	銀行、決済関連システムが減少
その他	製造業向けシステム関連が増加

(百万円)	2018.3 2Q	2019.3 2Q	増減額	増減率
オープンシステム	7,110	7,815	704	9.9%
公共	2,473	2,365	▲108	▲4.4%
流通・サービス	2,544	3,349	804	31.6%
金融	1,011	763	▲248	▲24.6%
その他	1,079	1,337	257	23.9%

オープンシステム売上高内訳(百万円)

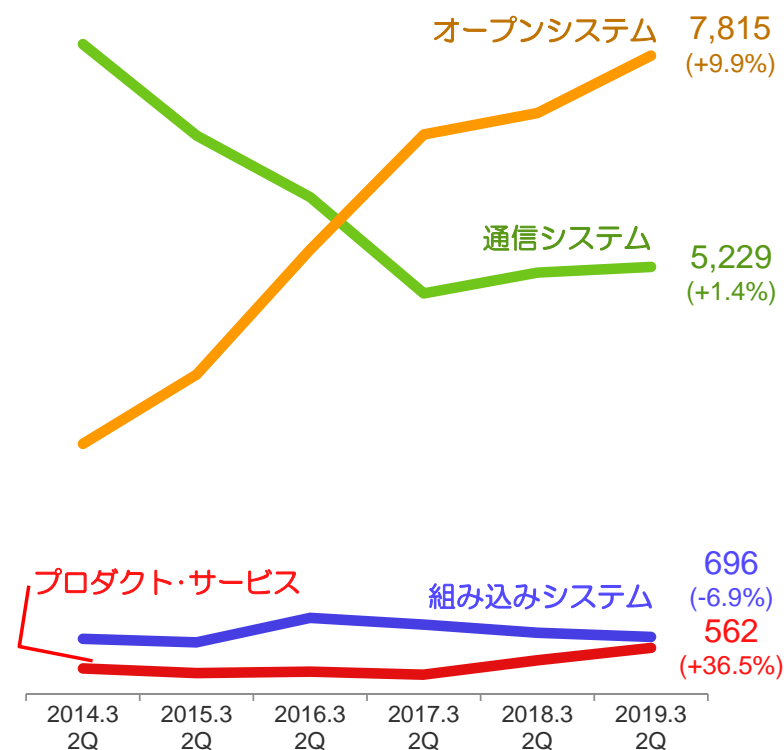


事業区分別の状況(売上高の推移)

オープンシステムは拡大継続
通信システムは減少が一服
組み込みシステムは減少継続

(百万円)	2018.3 2Q	2019.3 2Q	増減額	増減率
通信システム	5,157	5,229	71	1.4%
オープンシステム	7,110	7,815	704	9.9%
組み込みシステム	747	696	▲51	▲6.9%
プロダクト・サービス	411	562	150	36.5%

事業区分別売上高(百万円)



当社を取り巻く事業環境

systems

国内IT市場

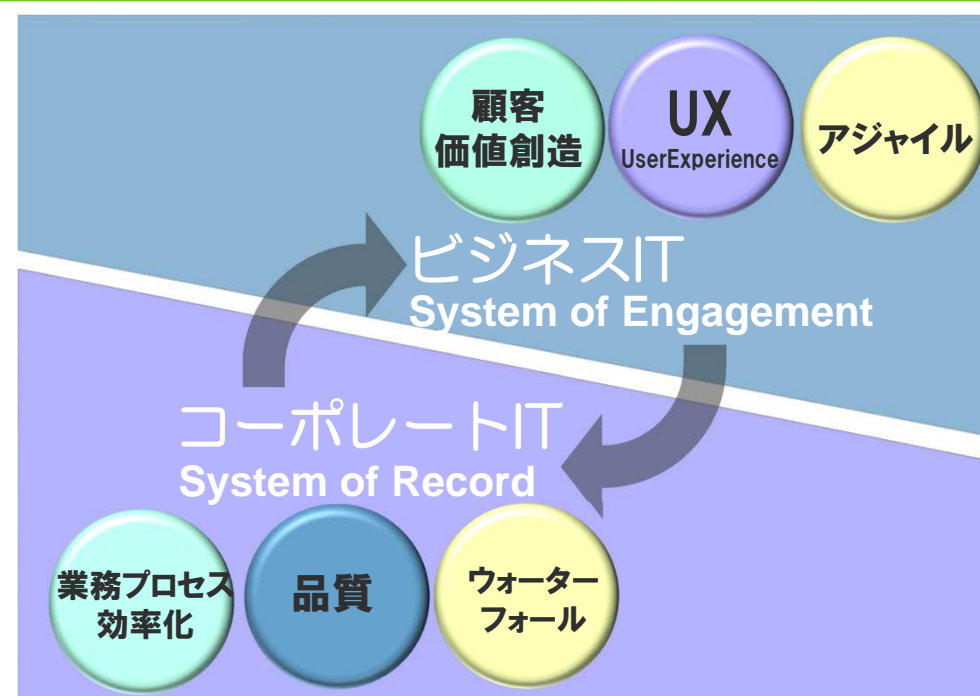
事業環境は良好、IT投資意欲は旺盛

国内IT市場の動向

種別	市場・分野	2017年	2020年	2023年	年平均成長率
B2C	動画配信	1,826億円	2,048億円	2,176億円	3.0%
	音楽配信	793億円	885億円	891億円	2.0%
	オムニチャネルコマース	52.9兆円	62.2兆円	72.2兆円	5.3%
	インターネット広告	11,281億円	12,816億円	13,295億円	2.8%
ソリューション	クラウドサービス	6,973億円	9,197億円	11,661億円	8.9%
	IoT	9,300億円	19,400億円	40,400億円	27.7%
	FinTech (スマートペイメント)	73.2兆円	91.9兆円	114.0兆円	7.7%
	SporTech	112億円	549億円	1,775億円	58.5%
	AgTech	99.1億円	261.2億円	402.8億円	26.3%
	FoodTech	2,343億円	3,263億円	4,682億円	12.2%
	EdTech	1,753億円	2,352億円	3,103億円	10.0%

[出典]NRI：ITナビゲーター2018年度版

IT投資の質の変化



5G開始に向けた動きが活発に

2018年	2019年	2020年	202x年
▲現在 ▲5G仕様策定	▲ラグビーW杯 プレサービス 周波数割当	▲東京オリンピック 商用サービス	5G拡張 徐々に4Gから移行、エリア拡大、サービスの高度化

ラグビーW杯にあわせてプレサービス開始
2019年に大都市圏の一部エリアで先行導入

超繊細映像配信 ドローン警備	スタジアムソリューション
-------------------	--------------

5Gをインフラとする革新的なサービス
エリア拡大、DX技術と融合し、サービス拡張

建設機器 遠隔制御	スマート シティ、ハウス	バーチャル リアリティ
遠隔 医療・介護	交通 物流	スマート スタジアム
自動運転	気象予測 防災	エンタメ 教育
超高速	多数同時接続	低遅延



経営課題への対応状況

systems

経営戦略と課題

事業方針

持続的な成長に向けた事業基盤の強化とさらなる優位性の獲得

経営戦略

システム開発事業の基盤拡大

新たな収益源となるビジネスの創出

経営課題

オープンシステム事業の優位性確保

人的パワーの拡充

生産性の向上

リスクマネジメントの定着

プロダクト・サービスビジネスの拡大

注力する経営課題と対応方針

経営課題

オープンシステム事業の優位性確保



人的パワーの拡充



プロダクト・サービスビジネスの拡大



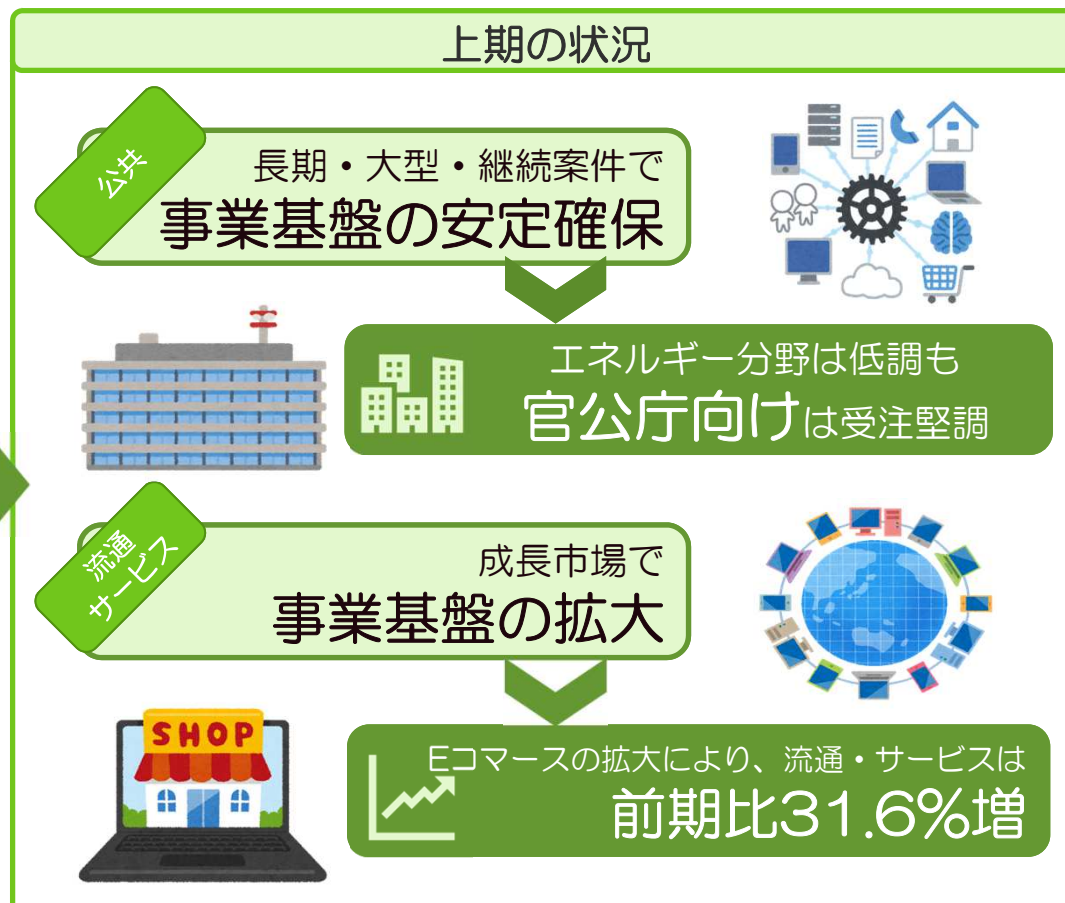
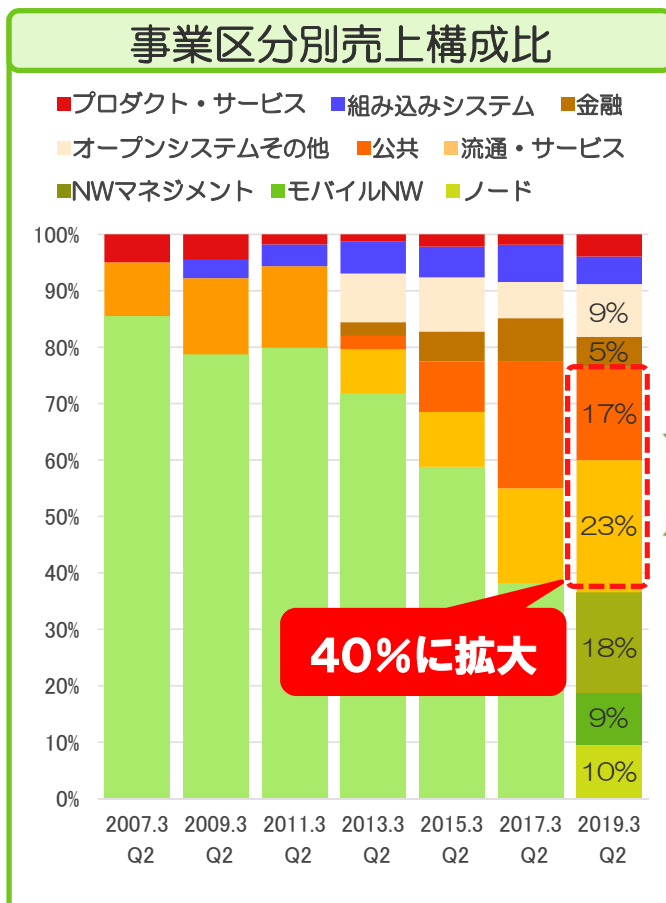
対応方針

成長の基盤となる事業領域への選択と集中
デジタル革命への対応

人材の確保と育成

V-Bootビジネスの拡大
新規ビジネス創出の促進

成長の基盤となる事業領域への選択と集中



デジタル革命への対応

先端技術への取り組みと「デザインするプログラマー」の育成

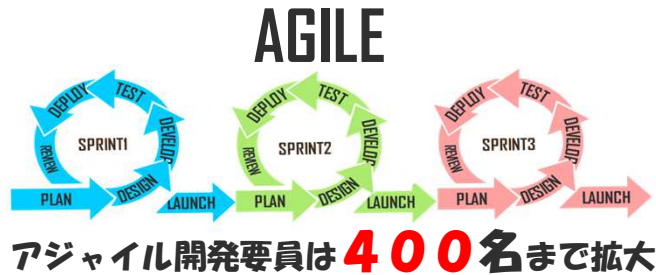
👉 先端技術対応

商談で必要となる
先端技術を戦略的に習得



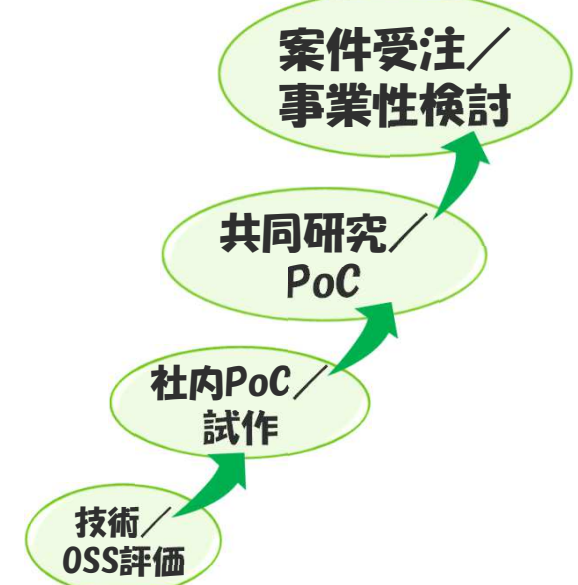
📈 ソフトウェア開発手法

ネット企業との取引急拡大を踏まえ、
アジャイル開発要員を育成



🤝 新事業の芽の創出

お客様と共同でビジネス研究、
協働での案件受注を推進



人材の確保と育成

プロパー主義を基本に、人材の量と質を確保

柔軟な採用方法へ

課題 大卒求人倍率1.88倍、新卒採用の超売り手市場化

新卒採用強化

予定150名

第二新卒採用
を開始

量
の確保



配属前技術研修の強化

課題 現場で必要としているスキルを早期に身につけたい

新人研修

基本教育

顧客・案件
に合わせた研修

即戦力化

V-Bootビジネスの拡大

営業利益率向上の中心課題と位置づけて推進

拡大施策

大学以外への展開

- » 展示会等への積極出展と営業用HP強化
- » 教育委員会への営業
- » ホテル、ネットカフェへ営業

販売・構築パートナーの新規開拓、協業拡大

- » パートナー向けヘルプサイトを構築中

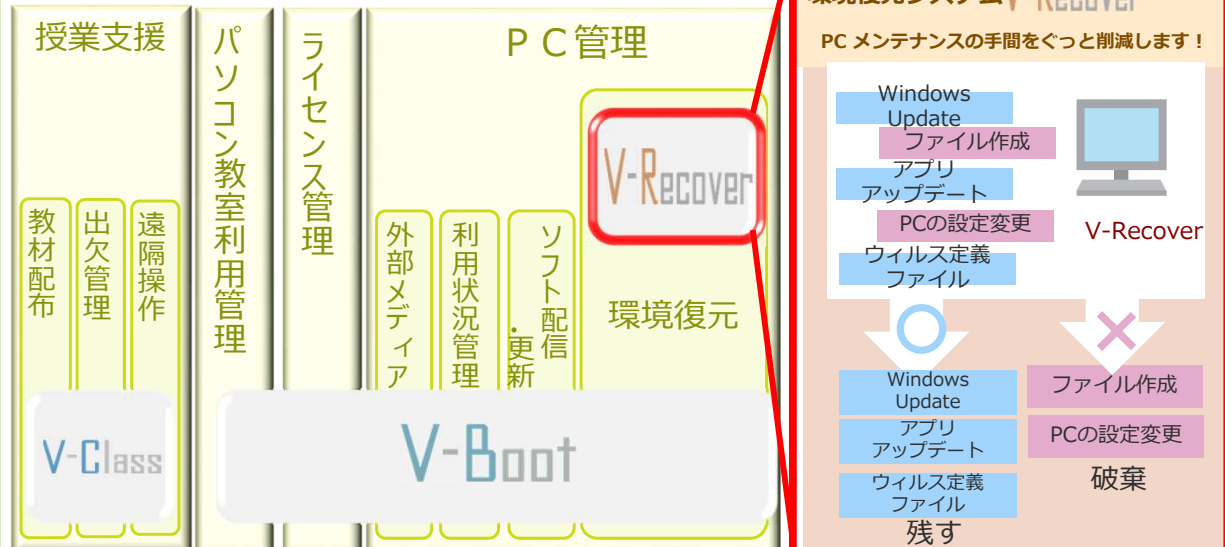
ライセンス販売の推進

- » 現時点で、ライセンス数は前期を上回るも更なる拡大（パートナーへの営業活動）が必要

ソリューション拡充

10月5日に新製品を投入（V-Recover）

V-Bootビジネス（PC管理ソリューション）

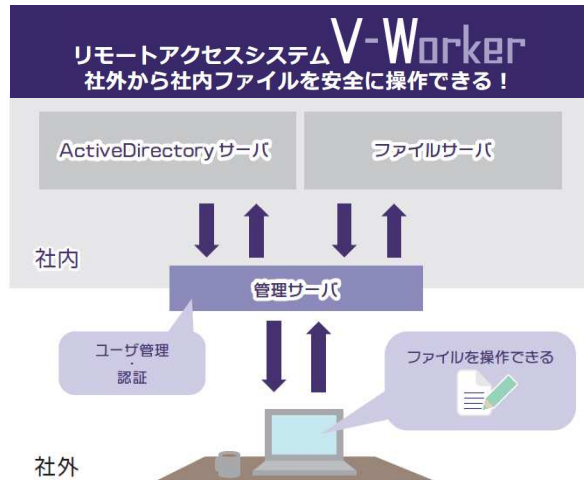


新規ビジネス創出の促進

2つの異なるアプローチで、新ビジネスの創出を加速

自社ソリューションを軸に活動
(プロダクト・アウトの発想)

VDI (仮想デスクトップ基盤) よりも、手軽に
導入可能なリモートアクセスソリューション



顧客と新ビジネスの可能性を創出
(マーケット・インの発想)

共同研究、PoCを推進中



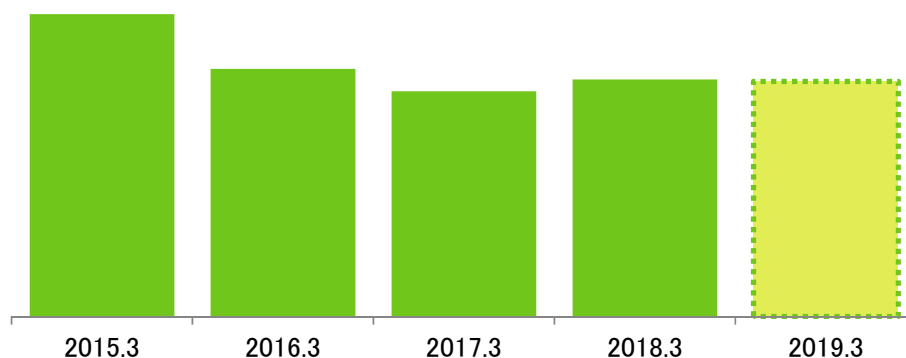
新しいビジネススキーム
の可能性を模索中

2019年3月期 通期見通し

systems

2019年3月期 見通し(通信システム)

(百万円)	2019.3	増減率	見通し
通信システム	10,600	▲0.9%	
ノード	2,300	▲3.0%	
モバイルネットワーク	2,800	▲9.4%	5G関連の動向を注視
ネットワークマネジメント	5,500	5.2%	NGN関連で増加



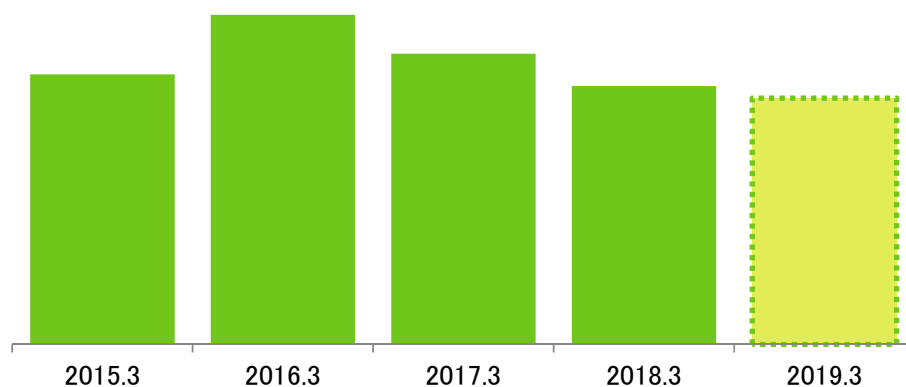
2019年3月期 見通し(オープンシステム)

(百万円)	2019.3	増減率	見通し
オープンシステム	15,500	6.5%	
公共	4,700	▲6.1%	官公庁は堅調、エネルギー関連が収束傾向
流通・サービス	6,800	26.4%	Eコマース関連が引き続き増加傾向
金融	1,500	▲20.9%	銀行、決済関連が収束傾向
その他	2,500	10.2%	製造業向けシステム関連が増加



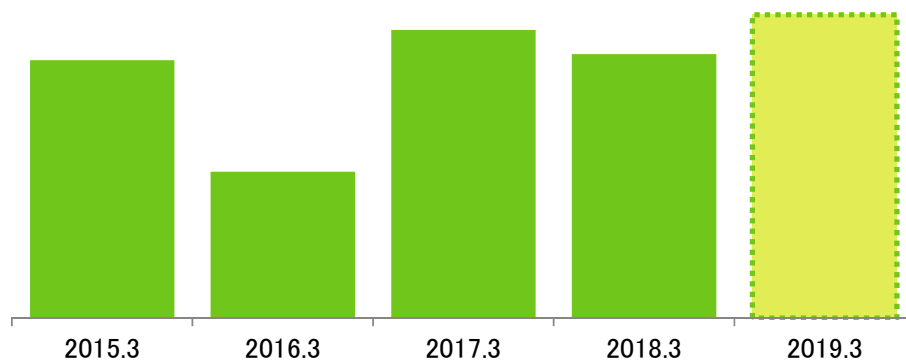
2019年3月期 見通し(組み込みシステム)

(百万円)	2019.3	増減率	見通し
組み込みシステム	1,400	▲4.8%	OA機器関連が引き続き減少



2019年3月期 見通し(プロダクト・サービス)

(百万円)	2019.3	増減率	見通し
プロダクト・サービス (“その他” 事業)	1,200	14.9%	文教ソリューションに注力 新製品の効果に期待



2019年3月期 見通し

業績見通し

(百万円)	2017.3	2018.3	2019.3	増減額 (増減率)
売上高	26,806	27,754	28,700	945 (3.4%)
ソフトウェア 開発	25,666	26,710	27,500	789 (3.0%)
プロダクト・ サービス ("その他"事業)	1,140	1,044	1,200	155 (14.9%)
営業利益	2,560	2,837	2,900	62 (2.2%)

ソフトウェア開発関連事業の見通し(内訳)

(百万円)	2018.3	2019.3	増減額	増減率	構成 比率
通信システム	10,690	10,600	▲90	▲0.9%	36.9%
ノード	2,371	2,300	▲71	▲3.0%	8.0%
モバイルネットワーク	3,089	2,800	▲289	▲9.4%	9.8%
ネットワークマネジメント	5,229	5,500	270	5.2%	19.2%
オープンシステム	14,549	15,500	950	6.5%	54.0%
公共	5,004	4,700	▲304	▲6.1%	16.4%
流通・サービス	5,378	6,800	1,421	26.4%	23.7%
金融	1,897	1,500	▲397	▲20.9%	5.2%
その他	2,268	2,500	231	10.2%	8.7%
組み込みシステム	1,469	1,400	▲69	▲4.8%	4.9%

オープンシステム
事業の優位性確保

人的パワーの
拡充

マーケット・顧客動向を見据えた戦略により 持続的な成長と安定した収益基盤を構築

リスク
マネジメントの
定着

生産性の
向上

プロダクト・
サービスの
拡大



株式会社アルファシステムズ

<https://www.alpha.co.jp/>

<本資料の取扱上のご注意>

業績予想等につきましては、本資料の発表日現在におきまして入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合がありますので、あらかじめ、ご了承ください。

<本資料に関する問い合わせ>

〒211-0053 川崎市中原区上小田中6丁目6番1号 本社(中原テクノセンター1号館)

株式会社アルファシステムズ 経営企画本部 広報室

TEL(044)733-4111(代) E-mail: ir@alpha.co.jp